



帰って

ゆくべき

世界は

今遇う光に

よって

知らされる

「浅井成海」

一 はじめの 一 歩

基幹運動から実践運動に移行して二年がたちました。今、これをお読みのあなたはどんな活動をしていますか。何もしていない、実践運動つてよくわからない、何も変わっていないなど、様々な思いや考えがあることでしょう。ただ、今お寺を取りまく環境が激変していることへの危機感はあるが感じているはずで、先日ご法事のことです。最近ではめずらしく、施主さん夫婦、その母親、息子夫婦、そしてお孫さんと四世代が揃われた席でした。施主さんの祖母の三十七回忌ということでしたので、息子さん夫婦とお孫さんにとっては、出会ったことのない方の法事ということになります。遺影を見て、お孫さんがかわいい声で不思議そうに、「おばあちゃんってなんで死んだん」すると施主のお母さんが「それはねえ、おばあちゃんは年とって、病気になって亡くなられたん」とやさしく答えられました。そして、その言葉をきっかけに、亡き方の思い出話や、人柄など皆さん感慨深く話されました。その場にいた私はいのちのちのちのちであいを感しました。誰もが生と死を抱えて今を生きているいのちであり、だからこそ今日出会えたことが尊く、嬉しいことなのです。皆で唱える「お正信偈」の聲が私たちを包んでくださり、この私に寄り添い、決して放すことのない、阿弥陀さまのはたらきのなかにいることを感じました。その夜、別のご法事がありました。お参りされている方の話し声が聞こえてきました。「法事っていつまでもらうのかな」「もう息子の代になったら一周忌でしまいさ、若い者はなんで法事をつとめなあかんのやって言うてる」と息子さんの言葉に置き換えて自らの問いを吐露されている方がおられました。昼と夜のわずかな時間の違いで対照的な法事の場合、それぞれ思いのなか、どのようにみ教えを伝えていけばいいのか、その責任を考えさせられた一日でした。

地元の創業二百五十年の旅館が苦渋の決断をされ、昨年末で暖簾を下ろされました。私が住職をつとめるお寺も、月に二十軒ほどあった月参りもわずか一軒となっています。時代の流れとはいえ、世代が変わり、生活習慣が多様化し、過疎化が進行するなど、大きな課題が突きつけられています。旅館廃業の決断は決して他人事ではない気がします。当たり前のように勤めていた法事、通夜、葬儀の意義を社会にどう繋いでいけるのでしょうか。歌手のさだまさしさんはコンサートで観客席に向かって「あなたの大切な人の笑顔を思い出してください。そしてその笑顔をまもるため自分に何ができるかを考えてみませんか」とメッセージを送られています。私の笑顔をまもるためにつねにおはたらきくださる阿弥陀さまがいてくださいます。そのはたらきを受け止めたとき、今度はわたしが大切な人のために何ができるか考え、動き出してみませんか。ともに心豊かに生きるために。 住職

浄土真宗本願寺派では、一九八六(昭和六十一年)より「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ、「基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)」を進めてきました。このたび、その成果を継承し課題を克服するため、運動名称を「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)と改め推進することとなりました。宗祖親鸞聖人は、混迷した世の中にあって、ともにお念仏を喜ぶ仲間を「とも同朋」「御同行」と呼び、苦悩する人々とともに生き抜かれました。私たちの先人はそのお心を受け、「御同朋・御同行」と互いに敬愛し、み教えをまもり広めていこうと努めてこられました。「御同朋の社会をめざす運動」とは、いのちの尊さにめざめる同朋一人ひとりが自覚を深め、浄土真宗のみ教えを社会に広め実践していく活動です。

3月の行事

- 1日(土) 6時30分 おあさじ
 5日(水) 19時30分 コーラス
 9日(日) 鈴鹿組二十五日講法要
 14時 西方寺様にて
 9日(日) 10時 日曜学校
 16日(日) 6時30分 おあさじ
 春彼岸 18日～24日
18日(火) 無量寿会追悼法要 13時30分
 31日(月) 東海教区少年連盟本山参拝

4月の行事

- 1日(火) 6時30分 おあさじ
 2日(水) 19時30分 コーラス
 6日(日) 鈴鹿組はなまつり
 7日(月) 13時30分
 無量寿会花まつり・総会
 16日(水) 6時30分 おあさじ
 26日(土) 春季永代経法要
 27日(日) 春季永代経法要 世話方会

東日本大震災追悼の鐘

日時 3月11日(火)

14時45分 鐘を撞きます



おつとめ と 映画「遺体」の追悼つどい
 みなさま お集まりください

第7回 鈴鹿組はなまつり

今年は楠平尾 専念寺様で、はなまつりの行事を行います。

お子さん・お孫さん・みなさん

あつまって下さい。

日時 2014年4月6日(日)

10時00分 はなまつり行事参加

おつとめ(おまいり)おはなし 灌仏

レクリエーションなど

12時00分 閉会のあいさつ・解散

春の永代経法要

4月26日(土) 午後1時30分 おつとめ

4月27日(日) 午後1時30分 おつとめ

法話 三河 小野線信師

亡き方を偲ぶ私に、亡き方が、仏さまとなり
 私に願いをかけて下さっております。

お聞かせていただきましょう

帰ってゆくべき世界は今遇う光によって 知らされる

今月の言葉は、彼岸会の勤修される三月を迎え、その「彼岸」とは我々が往生させていただくお浄土であると、浅井先生が味わっておられるものです。そのお浄土とは、私の帰ってゆくべき仏の世界であり、それを知我々一人ひとりを通して続ける光によって知らされるといわれています。つまり、智慧の光明の源だといいただいておられるのでしょうか。その智慧の光明は、すべての衆生を区別することなく平等に救い育む大慈悲のはたらきそのものだからこそ、このような身勝手な凡夫である私にもいたり届いているのです。私たちは、普段「自分の力でこれまで生きてきたし、今後も生きていける」と思っていますが、それは、身勝手な自己中心(我執)の傲慢な心です。仏の智慧の光明に出遇ってこそ、その我執を砕かれていくのです。そこに、苦難の人生にあつて、新たに広く力強いいのちの営みが始まるのです。言い換えれば、阿弥陀如来の智慧の光明にで遇っているとは、その温もりである慈悲をいただいているのです。そこに待っている人がいる世界にかえらせていただける喜びを味わえる日々が始まるのです。

二〇一三年法語カレンダー 「心に響く言葉」より

鈴鹿組 親鸞聖人・関東ご旧跡巡拝と福島復興支援 絆の旅

平成26年6月23日(月) ～25日(水) 2泊3日 茨城県西念寺栃木県専修寺 飯舘村・波江町・会津

募集人数 35名～40名 「バス1台」(参加者30名未満の場合中止) 参加費用 60000円～70000円

ご参加下さる方は申し込み存仁寺まで。(この旅行には存仁寺住職・坊守は参加できず申し訳ありません)